

参考資料 2 - 2

WHO 欧州事務局/IPCS ダイオキシン類健康リスク評価及び耐容 1 日摂取量 (TDI) 再評価に関する専門家会議の結果について

ダイオキシン類の健康リスク評価等のため、WHO 欧州事務局等による専門家会議が、平成 10 年 5 月 25 日 (月) ~ 5 月 29 日 (金) まで、スイスのジュネーブ WHO 本部で開催され、

新しい耐容 1 日摂取量 (TDI) が体重 1 キログラムあたり 1-4 ピコグラムとされた。

1. 概要

本会議は、WHO (世界保健機関) の欧州事務局が IPCS (国際化学物質安全性計画) と協力して開催した専門家会議である。1990 年に、WHO の欧州事務局は、ダイオキシン類の耐容 1 日摂取量について体重 1 キログラムあたり 10 ピコグラムと設定したところであるが、その後の神経発達及び内分泌への作用等に関する最新の知見を踏まえ、ダイオキシン類の耐容 1 日摂取量について再評価を行い、「4」に示す結論が導出された。

2. 出席者

議長：ジョン・クリスチャン・ラーセン (デンマーク)

出席国及び出席者数

：アメリカ、オランダ、日本、スイス、カナダ、ニュージーランド、ドイツ等 15 カ国から専門家およそ 40 名

3. 日本側出席者

1) 林裕造（北里大学薬学部客員教授）、2) 黒川雄二（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物 試験研究センター長）、3) 遠山千春（国立環境研究所環境健康部長）、4) 上田博三（環境庁 環境保健部環境リスク評価室長）、5) 林憲一（厚生省生活衛生局生活化学安全対策室専門官）

4. 会議の結果

ダイオキシン類の耐容 1 日摂取量（TDI）については、動物実験の結果を、半減期及び体負荷を考慮して検討した結果、体重 1 キログラムあたり 1.4 ピコグラムとした。

WHO EXPERTS RE-EVALUATE HEALTH RISKS FROM DIOXINS